

特集 チャレンジ大阪 4

「大阪市立工業研究所との産官技術交流会」

～ 新しいものづくりに役立つ “光・電気・熱” を操るポリマーハイブリッド ～

主催／大阪商工会議所、地方独立行政法人 大阪市立工業研究所、一般社団法人 生産技術振興協会

後援／大阪市、商工中金、大阪市信用金庫、大阪商工信用金庫、一般社団法人 大阪大学工業会、

NPO法人 エコデザインネットワーク

協力／一般社団法人 大阪工研協会、りそな銀行

〈開会挨拶〉

一般社団法人 生産技術振興協会

理事長 伊東 一良 氏



皆さん、こんにちは。生産技術振興協会の理事長を務めております大阪大学の伊東と申します。「チャレンジ大阪」は大阪市立工業研究所、大阪商工会議所、生産技術振興協会の3者が主催する催しで、今回で4回目を迎えました。私共の生産技術振興協会は今年4月から一般社団法人として再スタートをいたしておりますが、基本的には大阪大学を始めとする研究機関と連携をとりながら、大阪地域の産業振興に尽力しているところでございます。当協会自体は1949年、昭和24年に発足、今年で64年目という長い歴史を持っております。64年間続いていることとして「生産と技術」という技術関係の季刊誌を発行いたしており、主に大阪大学の中にある技術を産業分野に引き継ぐという観点から紹介しています。それ以外にセミナーや交流会を開催し、皆様のお手元の資料にある「ハイテク推進セミナー」も今年は11月11日に開催することになっております。また11月20日には、大阪大学と連携して「待兼山から産まれた科学と技術」と題する産学交流会を開催します。これは基礎工学研究科と大阪商工会議所、生産技術振興協会の3者が主催するもので、内容と

しては再生医療、音響バイオセンサー、ロボット研究の技術などを紹介します。今回の「チャレンジ大阪4」は新しい材料について、特にハイブリッド材料について紹介します。私はどちらかといえば物理系なので、ハイブリッド材料のことはあまり存じ上げないのですが、ただナノ材料から生まれるということで、ナノは化学と物理の境界あたりの理論に共通するところがあります。材料というのはものづくりの基盤の技術であり、材料を少し変えるだけで新たなものができるということは大変素晴らしいことであり、物理側の人間としても、その研究開発に対してうらやましく思います。本日は材料系の技術の最先端の話をしていただきますが、産業革命を支える光、電気、熱は重要ですが、それらを操るためのハイブリッドの材料ということです。また、講演会の後には見学会と交流会も開催します。本日のチャレンジ大阪を通じて、企業の皆様方のネットワークづくり、日頃の研究開発に生かしていただくようお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は多数の方々にお越しいただきまして、ありがとうございました。